



きくち忍 ニュースレター(活動報告)

岩沼市議会議員 菊地忍

No.16 2022/4

～コロナウイルス感染拡大から3年目の春～

世界中をコロナウイルスが猛威を振るい続け地域経済の低迷が続く中、様々な対策や新しい生活様式を模索し続ける日々が続いております。政治家となり7年目の春を迎えました。

昨年1年間の主な活動を掲載しましたのでご覧ください。



定例会 代表質問

健康で笑顔あふれるまちづくり施策について

団塊の世代が後期高齢者となり始める2022年。岩沼においても令和3年3月31日現在で60歳以上の人口は市全体の32.7%となっており、今後かなりのスピードで高齢者人口が増えていくことが想定されます。そんな時代を迎えるにあたり市として考えなければならない対策を提案。

Q：高齢者を支える世代の定住人口を増やす為の策として「待機児童ゼロ政策」を岩沼市が強く打ち出してはどうか。

A：これまででも待機児童ゼロを目指して行って来ましたが引き続きゼロを目指してやらせていただきます。

子どもの未来を創るまちづくり施策について

情報教育はこれから時代を担う子どもたちにとって大変重要で必要な教育と考えます。

双方向のオンライン授業の必要性を提案

Q：小・中学校情報教育における新たな取組の一つとして「担当の指導主事を配置する」事が必要と議会の中で何度も提案。

A：現在、人選を宮城県教育委員会と調整しているところではございます、その役割といたしましては、ICT活用に係る相談業務、それから支援業務、相談支援業務を中心に行い、さらに学校現場の情報教育の推進をバックアップしていきたいと考えております。

にぎわいと交流のあるまちづくり施策について

次の世代にしっかりとこのまちの魅力と活力をつないでいくために、地方創生推進の要となる地域経済を支えて行かなければならないと考える。岩沼市の地域経済循環率は88.8%となっており毎年127億円のお金が地域外へ流出している。この事をしっかりと捉え様々な施策を打ち出して行く必要がある。

Q1：ふるさと納税の更なる拡充をはかる為に、リピート率を上げる対策やアニメファンといったような新しい企画を考えて岩沼のファンを増やす施策が必要と考える。

A1：他自治体の取組など参考となる情報を積極的に収集しまして、反映させていくように取り組んでいきたいと思います。

Q2：AI運行バスをきっかけにカーボンニュートラルやキャッシュレスサービス（オンライン決済）の充実を図り、域内でお金が循環する仕組みを作る必要がある。

A2：バス運賃のオンライン決済あるいはそのキャッシュレス決済につきましては、現在岩沼市民バスの運行計画の見直しを行っておりまして、その中でもそういった御意見をいただいておりますので検討が必要な部分と捉えております。

議会での様子を映像でご覧になれます。

https://iwanuma-city.stream.jfit.co.jp/?tpl=play_vod&inquiry_id=211



日々の活動報告

<2期目後半 議会での役職>



教育民生常任委員会 委員長

「団塊の世代」が後期高齢者となり始める2022年。医療費や社会保障費も増え続ける時代の中で健康で笑顔あふれる生活がおくれるよう様々な提案を行っていきたいと思います。

また、教育現場においてもデジタル機器を活用した情報教育は、これから時代を担う子ども達にとって大変重要で必要な教育です。こういった視点から委員長としての責務に奮闘していきます。



市内中学校に設置したプロジェクター
ICT環境整備をしっかりと進めます。



議会ICT推進特別委員会 委員長

議会も昨年暮れからタブレットが導入されました。今年度からICT推進特別委員会が設置されました。委員長としてしっかりと議会のデジタル化を進めていきたいと思います。



朝の見守り活動中

一要望活動一

2021年10月に岩沼市西部地区町内会長連絡協議会の皆さんと

岩沼市都市計画道路、朝日山公園線整備の要望書を提出しました。

西部地区は人口も増え続けており、小中学校の児童・生徒の通学時、朝晩の通勤時の交通渋滞が発生しており、地域住民としては、通学時の安全な道路確保、交通渋滞の緩和への大きな期待が寄せられており、道路整備が早く行われることを切に願っております。



Mail : rrshinobu@yahoo.co.jp

携帯 : 090-4049-5209

日記 : <https://ameblo.jp/rrshinobu>

YouTube : <https://www.youtube.com/user/rrshinobu40>

